

---

# イグラドシル

隆月

---

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

## 注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

### 【小説タイトル】

イグランドシル

### 【Nコード】

N0804G

### 【作者名】

隆月

### 【あらすじ】

世界は混沌に包まれていた。光も闇も無いただの虚無の世界だった。そこに一粒の種が落ちた。そう、現在の世界樹の誕生。それから永い年月が過ぎ、新たな光と闇が姿を現す

## ツインハーツ 1 (前書き)

初めまして。若輩者ですが見ていってください。  
この章からツインハーツ編です。  
よろしくお願いします。

## ツインハーツ 1

「ミーティア、ビーナスは頼んだ。」

ビーナスとは、国家直属戦闘部隊の事だ。

「はい。それでは、国王陛下失礼します」

戸を閉めると同時に私は一息付いた。

なんせ、従者が何十人もいる部屋にいれば、自然と疲れるものだ。

・・・早く戦場に戻りたい。

「ミーティア様。これ程まで会議が増えて、

戦場にお戻りになりたいのですよね」

・・・読まれた！

「やはり凶星ですね。」

「何で、フェアはいつも私の心が読めるの？」

「それは、何年もミーティア様の側にいさせていただいていますから」

「フェアには負けるよ。流石は私の優秀な側近だけあるな」

「優秀と言われましても、比較対象がいまいませんですし」

「うっ」

フェアは主人が苦い顔するのを見て続けて言った、

「何故、ミーティア様は従者を増やそうとしないのですか？」

だめもとで、もう何回目か分からない位聞いてるが

返ってくる答えはいつも一緒だ。

「フェアより優秀な奴が見つからないからだ、何回もいったらう」

「本当に珍しいですよ。ミーティア様程の位の方が

従者を1人しか持たないなんて」

「別に1人で十分だ。多ければ良いというものでもない」

二人の出会いとは丁度5年前に遡る

## ツインハーツ 1 (後書き)

第一話どうでしたか？ちょっと短いですけど気にせずにご覧になってください。このあとがきで新キャラと次話の紹介をしていく予定です。キャラ紹介

### ミーティア

ツインハーツ編の主人公です。とってもクールな女性です。

役職はビーナス（国家直属戦闘部隊）の将軍（一番偉い）です。

### フェア

ミーティアの側近です。簡単に言ってお世話係？

結構、謎に包まれている方です。

第2話は2人の出会いについてです。

この世界のお話もするかもです。

それでは・・・

## PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能<sup>たんのう</sup>してください。

---

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。  
<http://ncode.syosetu.com/n0804g/>

---

イグラドシル

2011年1月16日01時33分発行